GRIP
グリップ® 3・4・5・6号

抑制帯
RESTRAINT BELT

取扱説明書

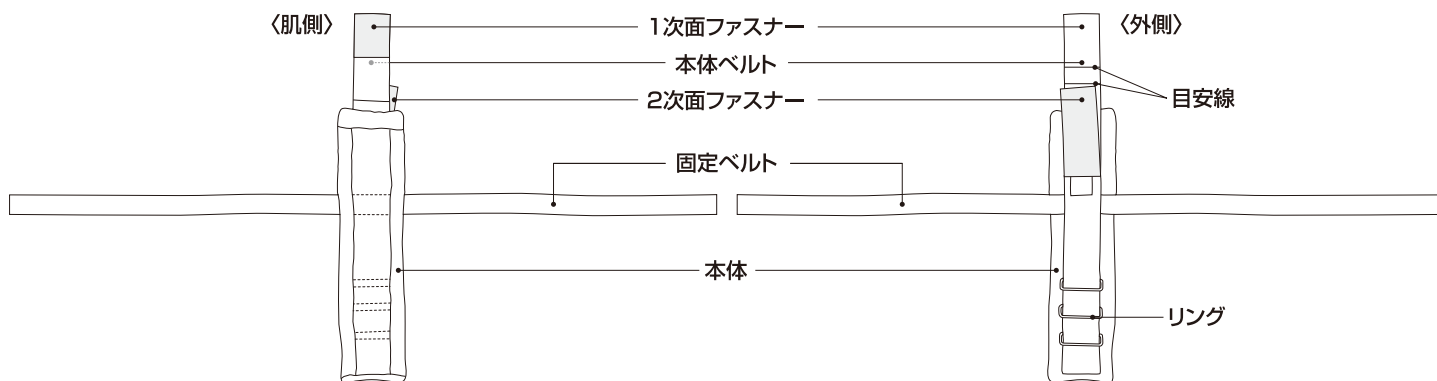
●この取扱説明書を熟読の上、商品の特性を十分に理解してからご使用ください。
●この説明書は、本品とともに保管し、使用の際には、必ずお読みください。

はじめに……

《グリップ 3号・4号・5号・6号》は装着者の無意識・不可抗力的な動きを簡易的に一定限度抑制するために設計されているものです。そのため装着者の動きを完全に抑制するものではありません。本品は医科向けです。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従い、使用期限を守り、正しくご使用ください。

商品についてご不明な点は下記までご連絡ください。
アルケア株式会社　お客様相談室
フリーダイヤル **0120-770175**（土日・祝日を除く午前9:00～午後5:30）

各部の名称と構造

〈肌側〉
〈外側〉
1次面ファスナー
本体ベルト
2次面ファスナー
目安線
固定ベルト
本体
リング

使用上のご注意

本体ベルトや固定ベルトが外れると転落や自傷、他害の危険がありますので、次の点にご注意ください。

警 告　人身事故につながるおそれのある注意事項

●本品の規格の適応部位は目安です。適応範囲（周囲）を守り、装着する部位の周囲から最適なサイズをお選びください。本体ベルトがしっかり止められず、本体ベルトから手や足が抜けることがあります。
●本品が水に濡れた状態、洗濯後の乾燥が不十分な状態、湿度の高い環境での使用は、面ファスナーの接着力が著しく低下し本体ベルトが外れるおそれがありますのでご使用しないでください。また、面ファスナーに毛玉やゴミ等が付着している場合も接着力が低下しますので、面ファスナーの接着面の毛玉、ゴミ等を取り除き確認も必ず行ってください。
●長期間の保管後は著しく面ファスナーの接着力が低下していることがあります。接着面の確認を必ず行い、低下している場合は新しい商品をお使いください。
●各面ファスナーの着脱回数は約500回を想定しています。それ以上の使用は接着力が著しく低下し本体ベルトが外れるおそれがありますので新しい商品をお使いください。
●リングやベルト、面ファスナーにキズ、ホツレ、変形、サビ等の異常がないことを確認してください。本体ベルトが外れるおそれがあります。
●本体ベルトの1次面ファスナーは、5cm以上重なるようにしてください。重ならない場合は、適切な位置のリングに通してください。重なる部分が少ないと本体ベルトが外れるおそれがあります。
●本体ベルトの1次面ファスナーのオス（フック面）がメス（ループ面）を超えてしまう場合は、適切な位置のリングに通してください。2次面ファスナーが接着できず、本体ベルトが外れるおそれがあります。
●本体ベルトをリングに通して折り返し、本体ベルトの1次面ファスナーを押さえつけ、しっかり止めてください。また本体ベルトの端の浮き上がりがないことを確認してください。
●本体ベルトの2次面ファスナーを押さえつけ、しっかり止めてください。先端がめくれ上がり、本体ベルトが外れるおそれがあります。
●本体ベルトの2次面ファスナーが図4のように上を向いていることを確認してください。折り返しが下を向いている場合は、2次面ファスナーの端部がシーツ等に引っかかりはずれやすくなります。
●局所の管理に留意しながら、必要に応じて本体ベルトの上から包帯やひも等を結び補強を行ってください。
●固定ベルトはゆるみのないようにベッド等にしっかり結び固定し、結んだ後確認してください。ベッド等に固定する場合は、固定位置が可動しない場所を選んでください。
●装着部にチューブ・ラインがある場合は、チューブ・ラインの圧迫や閉塞が起こらないよう十分に確認を行ってから装着してください。
●装着部位に浮腫や創部皮膚障害等がある場合は、局所管理を十分に行い、慎重に使用してください。症状を悪化させるおそれがあります。
●本品の使用により、装着部位に過度の圧迫を与える場合があります。痛み、しびれ、知覚異常等について定期的な観察と適切な処置を行ってください。皮膚障害、神経障害、血行障害のおそれがあります。
●装着中、固定ベルトが手指、足指にからまったりしないよう注意するとともに定期的な観察を行ってください。
●突発的な行動などによってゆるみが発生することがありますので、適切な装着状態であることを適宜確認してください。
●滅菌は行わないでください。製品の劣化を早めるおそれがあります。
●MRI機器等の診断機器と併用はしないでください。金属部分が発熱し、火傷のおそれと、磁力によるによる引き付けなど、怪我のおそれがあります。

注 意　物損事故につながるおそれのある注意事項

●2次面ファスナーの長さの調整以外ハサミなどで加工、改造は行わないでください。（破損の原因となり、また正しく装着できなくなるおそれがあります。）
●面ファスナー及び面ファスナーをカットした端面による布類への接触に注意してください。破損するおそれがあります。

ご使用する前に

❶ 装着する部位の周囲をメジャー等によって計測し、本体ベルトについているサイズタグの適応周囲を確認の上、部位に合ったサイズをお選びください。適合しないサイズの場合、本体ベルトが外れたり、手や足が抜けたりする可能性があります。

❷ 1次面ファスナー、2次面ファスナーの接着性の確認を行ってください。また各部にキズ・ホツレ等がないことを確認してからご使用ください。

❸ ベッド等の固定ベルトを結ぶ場所は、固定位置が可動しない場所をお選びください。

使用手順

❶本体ベルト（2次面ファスナー）が体の外側に開く状態で、腕あるいは足を装具に合わせます。（図1）

❷リングがある側が上（図2）になるように本体を重ね合わせてください。

❸装着部が痛くならないようかつ、装具が外れないよう本体ベルトを折り返すリングを選択し本体ベルトを通して折り返します。（図3）
このとき次のことを確認してください。
①折り返しのリングが2本の目安線の中央にくるように折り返されていること。
②折り返された本体ベルトの面ファスナーが5cm以上接着面が確保されていること。
範囲外の場合は、面ファスナーの接着力が十分でない場合があり、外れる原因になりますので適応周囲をご確認の上適切なサイズをご使用ください。

❹ 1次面ファスナーを手のひらでしっかりと押さえつけます。

❺さらに残りの2次面ファスナーで上から押さえつけます（図4）。その際、2次面ファスナーの端部が体幹側に向いていることを確認してください。

❻2次面ファスナーの端部が本体ベルト部分よりはみ出ている場合には、カットしてください。その際、カットした端面が鋭利にならないよう適切に処理してください。

❼部分的な過度の圧迫がある場合には、リングの位置を変える、またはタオル等で当たりを和らげた上で、外れないことを確認してください。
※必要に応じて本体ベルトの上から包帯やひも等を結び補強を行なってください。

❽固定ベルトをベッド等にしっかり結び固定して、ゆるみがないことを確認してください（固定参考例:図5）。また、ベッド等に固定する場合は、固定位置が可動しない場所を選んでください。

❾定期的に固定ベルトのゆるみ、1次面ファスナー、2次面ファスナーの浮きがないことを確認してください。

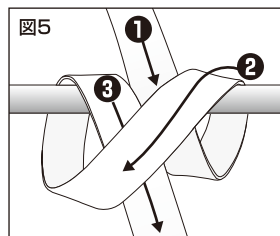
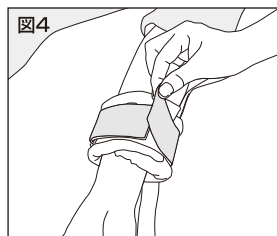
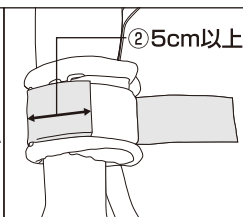
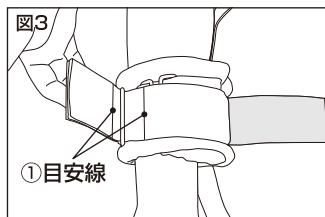
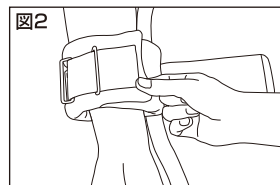
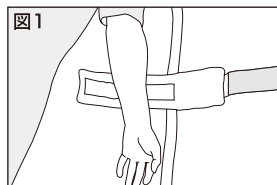



図1

図2

図3

図4

図5

保管上のご注意

●水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿をさけて室温で保管してください。
●保管状態によっては本体が変色することがありますが、使用上問題ありません。

廃棄方法

●本品は布製品です。通常可燃物として廃棄してください。ただし、リングは金属ですので取り外して金属として廃棄してください。（地域により異なる場合もありますので、詳しくは地方自治体の条例・規則をご確認ください）

洗濯方法

●30℃以下の水で中性洗剤を使用し、手洗いしてください。
●漂白剤、アイロン、洗濯機の使用や、ドライクリーニングは避けてください。
●洗濯後の乾燥は、陰干しにしてください。

種類と規格

種　類	商品コードNO.	規　格		1函入数
		周囲	適応部位（目安）	
2号	18081	――	成人 胸	1コ
3号	18082	7.0～12.0cm	小児 手首	2コ
4号	18083	10.0～23.0cm	小児 手首・足首・膝、成人 手首	2コ
5号	18084	20.0～33.0cm	小児 膝、成人 足首	2コ
6号	18085	30.0～46.0cm	成人 膝	2コ

アルケア株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階

0809

GRIP
グリップ® 2号

抑制帯
RESTRAINT BELT

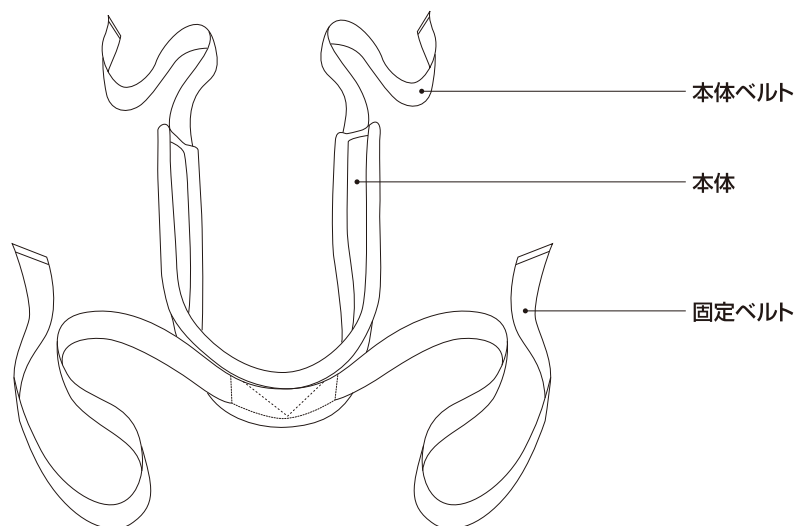
取扱説明書

●この取扱説明書を熟読の上、商品の特性を十分に理解してからご使用ください。
●この説明書は、本品とともに保管し、使用の際には、必ずお読みください。

はじめに……

《グリップ 2号》は起き上がり動作が見られる場合の肩や体幹の動きを一定限度抑制するために設計されているものです。そのため装着者の動きを完全に制限するものではありません。本品は医科向けです。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従い、使用期限を守り、正しくご使用ください。

商品についてご不明な点は下記までご連絡ください。
アルケア株式会社　お客様相談室
フリーダイヤル **0120-770175**（土日・祝日を除く午前9:00〜午後5:30）

各部の名称と構造

使用上のご注意

本体ベルトや固定ベルトが外れると転落や自傷、他害の危険がありますので、次の点にご注意ください。

警 告　人身事故につながるおそれのある注意事項

●必ず四肢および体幹を抑制する用具を併用し、単体でのご使用は避けてください。四肢または体幹が抑制されていないと起き上がり動作等が容易になり、ラインが外れる可能性があります。
●装着状態と固定ベルトの固定状態を適宜確認してください。手、肩、体が抜けてしまうことがあります。
●本体ならびに各ベルト等にキズ、ホツレ、変形等の異常がないことを確認してください。
●局所の管理に留意しながら、必要に応じて本体ベルトの上から包帯やひも等を結び補強を行ってください。
●固定ベルトはゆるみのないようにベッド等にしっかり結び固定し、結んだ後確認してください。ベッド等に固定する場合は、固定位置が可動しない場所を選んでください。
●装着部にチューブ･ラインがある場合は、チューブ･ラインの圧迫や閉塞が起こらないよう十分に確認を行ってから装着してください。
●装着部位に浮腫や創部皮膚障害等がある場合は、局所管理を十分に行い、慎重に使用してください。症状を悪化させるおそれがあります。
●本品の使用により、装着部位に過度の圧迫を与える場合があります。痛み、しびれ、知覚異常等について定期的な観察と適切な処置を行ってください。皮膚障害、神経障害、血行障害のおそれがあります。
●咳こみ等突発的な行動などによってゆるみが発生することがありますので、適切な装着状態であることを適宜確認してください。
●滅菌は行わないでください。製品の劣化を早めるおそれがあります。

注 意　物損事故につながるおそれのある注意事項

●加工、改造は行わないでください。（破損の原因となり、また正しく装着できなくなるおそれがあります。）

ご使用する前に

❶ 患者さんの体格、ベッドの幅及び固定ベルトを結ぶところまでの長さが十分足りることを確認の上ご使用ください。

❷ 各部にキズ・ホツレ等がないことを確認してからご使用ください。

❸ ベッド等の固定ベルトを結ぶ場所は、固定位置が可動しない場所を選んでください。

使用手順

❶固定ベルトをベッドに結びつけてください。

❷本体ベルトのクッション部側が患者さんの背部に接触するように天井に向け、脊椎と垂直になるように患者さんの体の下に通します。（図1）

❸本体ベルトを患者さんの腋窩から頭上方向に向けてベッド等にしっかり結び固定して、緩みがないことを確認してください。（図2）また、ベッド等に固定する場合は、固定位置が可動しない場所を選んでください。（固定参考例：図3）

❹部分的な過度の圧迫がある場合には、タオル等で当たりを和らげた上で、外れないことを確認してください。　※必要に応じて本体ベルトの上から包帯やひも等を結び補強を行なってください。

❺本体ベルト及び固定ベルトのゆるみがないことを確認してください。

❻定期的に本体ベルト及び固定ベルトのゆるみ、浮きがないことを確認してください。

図1

図2

図3

保管上のご注意

●水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿をさけて室温で保管してください。
●保管状態によっては本体が変色することがありますが、使用上問題ありません。

廃棄方法

●本品は布製品です。通常可燃物として廃棄してください。（地域により異なる場合もありますので、詳しくは地方自治体の条例・規則をご確認ください）

洗濯方法

●30℃以下の水で中性洗剤を使用し、手洗いしてください。　●漂白剤、アイロン、洗濯機の使用や、ドライクリーニングは避けてください。
●洗濯後の乾燥は、陰干しにしてください。

種類と規格

種　類	商品コードNO.	規　格		1函入数
		周囲	適応部位（目安）	
2号	18081	――	成人 胸	1コ
3号	18082	7.0～12.0cm	小児 手首	2コ
4号	18083	10.0～23.0cm	小児 手首・足首・膝、成人 手首	2コ
5号	18084	20.0～33.0cm	小児 膝、成人 足首	2コ
6号	18085	30.0～46.0cm	成人 膝	2コ

アルケア株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階

0809